

「思想文学」の可能性

3月23日（月） 14:00~18:00

一橋大学国立キャンパス

国際研究館4階共同研究室2

使用言語 日本語 参加登録 不要

第1部 研究発表（14:00~15:45）

在日朝鮮人女性作家とはだれか

李良枝の表象をめぐる一考察

米倉伸哉（言語社会研究科博士課程）

翻訳が伝えるもの

在日朝鮮人詩人・翻訳家、姜舜をめぐる

文熙喆（言語社会研究科博士課程）

在日朝鮮人・詩人 宗秋月と「糞リアリズム」

名のない／失われたものたちの死角リアリズム

朴志姫（言語社会研究科博士課程）

コメンテータ 渡邊英理（大阪大学教授）

第2部 講演（16:00~18:00）

森崎和江、海／産みと女 of 思想圏

『海路残照』『能登早春紀行』から『語りべの海』まで

渡邊英理

主催：科研費基盤(C)「環太平洋地域における文学ネットワークの構築」
（研究代表者：中井亜佐子）

共催：一橋大学言語社会研究科 韓国学研究センター